令和7（2025）年度

兵庫大学大学院

看護学研究科看護学専攻

［博士前期課程］

［博士後期課程］

学生募集要項

兵庫大学大学院

兵庫大学大学院 看護学研究科看護学専攻

＜設置の趣旨・教育研究上の目的＞

超高齢社会とともに訪れる多死社会において、より一層複雑化、多様化する住民ニーズに対して、住民のQOL並びにQODD（Quality of Dying and Death）の向上を目指す。そのために保健医療・福祉や関連する学際的分野の学問から創出した「看護の知」を活用し、看護実践ができる高度看護専門職者、また深い専門的な知識と卓越した実践能力を有し、かつ看護活動を科学的かつ客観的に捉える研究的視点を持ち、「看護の知」を自ら探究し開拓することができる、高度看護専門職者、看護教育者及び看護研究者を育成します。

目　次

看護学研究科【博士前期課程】 …… 1

Ⅰ　看護学研究科博士前期課程の3つのポリシー …… 1

1. ディプロマ・ポリシー
2. カリキュラム・ポリシー
3. アドミッション・ポリシー

Ⅱ　教育課程 …… 2

1. 授業科目一覧及び単位数、修了要件
2. 「特別研究」指導教員の研究テーマ一覧

Ⅲ　募集概要 …… 4

1. 募集人員
2. 出願資格
3. 出願期間・選考日程等
4. 分野・領域及び学位
5. 選考方法、試験内容、試験時間等
6. 出願書類

看護学研究科【博士後期課程】 …… 7

Ⅰ　看護学研究科博士後期課程の3つのポリシー …… 7

1. ディプロマ・ポリシー
2. カリキュラム・ポリシー
3. アドミッション・ポリシー

Ⅱ　教育課程 …… 8

1. 授業科目一覧及び単位数、修了要件
2. 「特別研究」指導教員の研究テーマ一覧

Ⅲ　募集概要 …… 10

1. 募集人員
2. 出願資格
3. 出願期間・選考日程等
4. 分野・領域及び学位
5. 選考方法、試験内容、試験時間等
6. 出願書類

共通事項 …… 12

1. 入学検定料及び納付方法
2. 試験地
3. 出願方法・郵送先・注意事項等
4. 受験上の注意事項
5. 合否発表
6. 入学手続き
7. 事前相談
8. 授業時間割について（昼夜開講制度）
9. 長期履修制度
10. 日本学生支援機構奨学金
11. 身体に障がいのある入学志願者との事前相談
12. 受験生の個人情報の取扱いについて
13. 入試情報の開示

出願資格審査 …… 17

1. 申請書類
2. 申請書類の受理期間
3. 申請書類の送付先
4. 資格審査の結果

看護学研究科【博士前期課程】

Ⅰ　看護学研究科博士前期課程の3つのポリシー

1. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本研究科博士前期課程では、修業年限以上在籍し、修了要件となる単位数を修得し、学位論文審査に合格し、以下の要件を満たす者に、修士（看護学）の学位を授与します。

(1) エンドオブライフケアを含めた、看護の高度な知識に裏打ちされたケアを提供することで、人々の生活の質の向上に貢献し、看護のリーダーとなることのできる人材
(2) 看護専門職者として、地域の多職種・多機関と連携し協働することで、地域住民の生活を支えるケア体制や保健医療システムの向上に貢献できる人材
(3) 看護実践における研究を通じて、地域の看護管理、看護教育、看護研究に貢献できる人材

2. 教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

兵庫大学大学院看護学研究科博士前期課程のディプロマ・ポリシーで示された能力を身につけるために、次の方針に沿ってカリキュラムを編成します。専門分野の高度な専門知識を学修するため、本専攻に「基盤看護学領域」、「エンドオブライフケア看護学領域」、「生涯発達看護学領域」、「広域看護学領域」を置きます。

(1) 豊かな人間性と高い倫理観を養い、看護の実践、教育、研究を遂行するための前提となる共通科目を設定します
(2) 看護実践及び研究を多角的に捉えるとともに、専門領域における高度な実践力、教育力、研究力を育成するための専門科目を設定します
(3) 研究指導を行う研究科目は１年次より指導教員によって論文作成までを計画的に指導します

3. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本研究科の目的を踏まえ、以下の方針に基づいて入学者を受け入れます。

(1) 高い倫理観を基盤に、自らの看護の力について語れる人
(2) 看護実践で生じる様々な現象や課題を見極め、看護の質の向上に寄与したい人
(3) 看護あるいは保健医療・福祉・教育における新たな問題を自主的に解決したい人
(4) 実践に根差した研究課題に取り組むために必要な研究方法を学びたい人

Ⅱ　教育課程

1. 授業科目一覧及び単位数、修了要件

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		
				必修	選択	自由
共通科目		看護学研究方法特論	1年Ⅰ期	2		
		疫学・統計学特論	1年Ⅰ期	2		
		看護倫理学特論	1年Ⅰ期		2	
		看護理論特論	1年Ⅰ期		2	
		看護教育学特論	1年Ⅱ期		2	
		臨床死生学特論	1年Ⅱ期	2		
		エンドオブライフケア特論	1年Ⅱ期		2	
		保健医療福祉学特論	1年Ⅱ期		2	
		小計（8科目）	－	6	10	0
専門科目	基盤看護学	看護教育管理学特論	1年Ⅰ期		2	
		看護教育管理学特論演習	1年Ⅱ期		2	
		長寿科学看護特論	1年Ⅰ期		2	
		長寿科学看護特論演習	1年Ⅱ期		2	
		小計（4科目）	－	0	8	0
	エンドオブライフケア看護学	エンドオブライフケア看護学特論	1年Ⅰ期		2	
		エンドオブライフケア看護学特論演習	1年Ⅱ期		2	
		小計（2科目）	－	0	4	0
	生涯発達看護学	成人・老年看護学特論	1年Ⅰ期		2	
		成人・老年看護学特論演習	1年Ⅱ期		2	
		母性・小児看護学特論	1年Ⅰ期		2	
		母性・小児看護学特論演習	1年Ⅱ期		2	
		小計（4科目）	－	0	8	0
	広域看護学	精神看護学特論	1年Ⅰ期		2	
		精神看護学特論演習	1年Ⅱ期		2	
		在宅看護学特論	1年Ⅰ期		2	
		在宅看護学特論演習	1年Ⅱ期		2	
		地域看護学特論	1年Ⅰ期		2	
		地域看護学特論演習	1年Ⅱ期		2	
		小計（6科目）	－	0	12	0
研究科目		特別研究M	1・2年通年	8		
		小計（1科目）	－	8	0	0
合計（25科目）			－	14	42	0

（修了要件）

本研究科に2年以上在学し、所定の単位（32単位以上）を修得するとともに必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験（口頭試問）に合格しなければならない。

（履修方法）

(1) 共通科目から、必修6単位を履修する。

(2) 専門科目のうち、自身が専攻する特論（2単位）、特論演習（2単位）を履修する。

(3) 共通科目、専門科目のうち、自身が専攻する特論、特論演習以外の科目から14単位以上を履修する。

(4) 特別研究M（8単位）を履修する。

2.「特別研究」指導教員の研究テーマ一覧

教育研究分野	領　域	教員氏名・連絡先	主要研究テーマ
基盤看護学	看護教育管理学	児玉 ゆう子 yukodama@	看護基礎教育、看護継続教育、現任教育の各々の実践における諸課題に関する研究。社会に資する看護・看護職であり続けるために求められる看護教育のありかたに関する研究。スポーツと看護に関する研究
	長寿科学看護	長尾 光城 dragon-n@	高齢者の体力について、元気な高齢者から病弱な高齢者までを対象に、生理学的変化と骨・関節の変化を観察することで、いかにして健康寿命を延伸させることができるかを考察し、生理学的、整形外科的な観点からの研究
		長尾 憲樹 tiger-n@	高齢者を対象に生活習慣病予防、介護予防に対する運動、栄養、精神力の維持・増進に関する研究課題を科学的知見から考究し、住民の健康の維持増進に寄与するための研究
エンドオブライフケア看護学	エンドオブライフケア看護学	兒玉 拓 kodama@	代表的な呼吸器疾患である気管支喘息病態について理解を深めるとともに喘息の看護ケアの課題を多角的に俯瞰しながら喘息発作時等の看護ケアの看護技術の向上を目的とするプログラム構築を目指した研究
生涯発達看護学	成人・老年看護学	白神 佐知子 sachiko@	がんや慢性的な健康障害をもちつつ生活をする対象者への看護及び、終末期にある患者および家族への倫理的配慮や意思決定プロセスの支援について質的に収集・分析し、看護の専門性と看護実践を追求する研究
		日坂 ゆかり hisaka@	慢性疾患を有する成人の人々やその家族に対して、診断直後から、急性期、回復期、終末期など病期を問わずに、患者の心身の経過や適切な看護師のケアを探求し、患者への看護実践の質保証に貢献できる研究。
	母性・小児看護学	若井 和子 kwakai@	幼児期から親子で始める性教育、児童養護施設に入所中の子どもを対象とした性教育を実践し、その効果についてデータ分析、を行い、性教育プログラムをブラッシュアップする。また思春期における性の健康リスクを回避できる性教育プログラムの開発に関する研究を行う。
		根本 順子 jnemoto@	重度の障害と共に生きる子どもと家族へのケア、小児がん等の難病に罹患した子どもと家族への包括的なケアに関する探究を中心とした、現代社会におけるあらゆる健康レベルにある子どもと家族に生じる多様な健康課題へのケアに関する研究。基礎看護教育における小児看護学分野の教育に関する研究。
広域看護学	在宅看護学	髙見 千恵 c-takami@	在宅療養者および家族に関する生活・健康課題を多角的に捉え、それらを解決するために必要な施策、地域包括ケアシステムの構築方法、家族支援プログラムの開発等を探求する研究
	地域看護学	多田 章夫 atada@	地域住民の喫煙、乳幼児虐待、神経難病、認知症、誤嚥性肺炎、要介護高齢者重症度予防等のテーマに関し記述統計、多変量解析などを用いた研究
		時長 美希 tokinaga@	地域の特性に応じた健康生活の支援方法の開発、コミュニティや集団における多様な健康課題の特性に応じた応用的・予防的な支援方法の開発、地域住民の生活の中に入り込んだ複雑な健康課題への統合的な支援活動の開発などについて、地域看護学の立場から研究事象として探究し、地域看護学に貢献することを目指して研究活動を行う

○E-mail：@以下は、＊hyogo-dai.ac.jp

Ⅲ　募集概要

1. 募集人員

6名

2. 出願資格

次のいずれかに該当する者、又は2025年3月31日までに該当する見込みの者

(1) 学校教育法第83条に定める大学（以下「大学」いう）を卒業した者

(2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により、独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者

※該当する見込みの者は、次のとおりとする。

ア）独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行する学位授与申請受理証明書を提出できる者

イ）学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1項の規定に基づき独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で、当該専攻科の修了が見込まれること及び当該者が学士の学位の授与を申請する予定であることを当該専攻科の置かれる短期大学長又は高等専門学校長が証明できる者

(3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る）有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(6) 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(7) 文部科学大臣の指定した者

(8) 入学時に、日本の大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本大学院が認めた者（休学期間は除外する）

(9) 学校教育法第102条第2項の規定により本研究科以外の大学院に入学した者であって、本大学院が大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者

(10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者であって、2025年3月31日までに22歳に達する者

（注１）上記（8）（9）（10）の出願資格により出願する者については、あらかじめ同資格の審査を行います。P.17「出願資格審査」のとおり手続きを行ってください。期日までに関係書類の提出がない場合、出願できません。

3. 出願期間・選考日程等

	第Ⅰ期	第Ⅱ期	第Ⅲ期　※
出願期間	2024年9月　1日（日）～ 9月20日（金）必着	2024年11月18日（月）～ 12月　6日（金）必着	2025年2月　1日（土）～ 2月14日（金）必着
試験日	2024年9月28日（土）	2024年12月14日（土）	2025年2月23日（日）
合格発表	2024年10月5日（土）	2024年12月21日（土）	2025年3月　1日（土）
入学手続締切日	2024年10月25日（金）	2025年1月17日（金）	2025年3月10日（月）
辞退届提出締切日	2025年3月31日（月）15：00まで		

※第Ⅲ期については、入学定員の充足状況により実施しない場合もあります。

4. 分野・領域及び学位

分野	領域	概要	学位
基盤看護学	看護教育管理学	看護基礎教育、継続教育、看護管理の現状と課題および、身体の構造・生理的視点からの課題についての教育研究	修士 （看護学）
	長寿科学看護		
エンドオブライフケア看護学	エンドオブライフケア看護学	エンドオブライフ期患者のケア、家族のケアにおいてQOL・QODDの向上を目指した看護理論の構築などの教育研究	
生涯発達看護学	成人・老年看護学	人の生命の誕生からエンドオブライフ期までの生涯を通じた人の発達過程のケアと課題を包括的に捉える教育研究	
	母性・小児看護学		
広域看護学	在宅看護学	地域で生活する個人と集団を対象に健康ニーズを把握し、他職種との連携形成など、包括ケアシステムの構築に関する教育研究	
	地域看護学		

5. 選考方法、試験内容、試験時間等

筆記試験（英語、専門科目）、面接試験（専門分野の口頭試問等）の総合評価（200点満点）とします。

試験内容	試験時間	配点	備考
英語	60分	50点	◆辞書（電子辞書可）の持込可 ※ TOEFL iBT のスコアが61点以上の者は、英語試験を免除する。 なお、有効期間は2年以内とする。
専門科目	60分	100点	◆志願する専攻の専門領域の1科目を受験
面接	15分	50点	◆面接員は2名 ◆専門分野の口頭試問等

入室時間	専門科目	休憩	英語	休憩	面接
9：00～9：45	10：00～11：00	11：00～11：10	11：20～12：20	12：20～13：00	13：10～

6. 出願書類

①志願確認票	インターネットで出願登録し、入学検定料を支払った後、マイページから印刷してください。
②自己経歴書	本学所定の用紙（**様式 1-1**）を使用し、本人が記入、作成してください。 （パソコンでの作成可）
③志望領域及び研究計画書	本学所定の用紙（**様式 2-1**）を使用し、本人が記入、作成してください。 （パソコンでの作成可）
④成績証明書	出願資格に該当する学校の長が証明したもので、発行日は出願前 3 か月以内のものを提出してください。開封無効。 ＊なお、出願資格審査で提出済の場合は提出不要。
⑤卒業証明書または卒業見込証明書	出願資格に該当する学校の長が証明したもの。 ＊なお、出願資格審査で提出済の場合は提出不要。

※改姓等の理由により、願書と証明書等記載の氏名が異なる場合は、その変更内容が確認できる公的書類（戸籍抄本等）を添付してください。

看護学研究科【博士後期課程】

Ⅰ　看護学研究科博士後期課程の3つのポリシー

1. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本研究科博士後期課程では、修業年限以上在籍し、修了要件となる単位数を修得し、学位論文審査に合格し、以下の要件を満たす者に、博士（看護学）の学位を授与します。

(1) 看護の専門職として、卓越した専門的知識と包括的な分析能力や研究能力をもって、看護の課題や健康問題を解決に導くことができる人材
(2) 国内外の多分野の専門家や研究者と協働することを通じて、地域の人々の健康課題の解決に寄与し、保健医療に関係する社会システムの構築と発展に貢献できる人材
(3) グローバルかつ多角的、複合的な立脚点から、独創的で卓越した看護研究活動を通じて、看護の新たな研究領域を開拓し、看護学の発展に寄与することができる人材

2. 教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

兵庫大学大学院看護学研究科博士後期課程のディプロマ・ポリシーで示された能力を身につけるために、次の方針に沿ってカリキュラムを編成します。専門分野のより高度な知識を学修するため、「エンドオブライフケア看護学領域」「生涯発達看護学領域」「広域看護学領域」を置きます。

(1) 専門分野で理論知を構築し発信するための基盤となる共通科目を設定します
(2) 専門分野における諸理論や方法論を探究する専門科目を設定します
(3) 研究指導を行う研究科目は１年次より指導教員によって計画的に指導し、論文作成を通して独立した研究者としての能力を養います

3. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本研究科の目的を踏まえ、以下の方針に基づいて入学者を受け入れます。

(1) 人の尊厳を尊重し、高い倫理観の基で社会に貢献する意志と使命感を有する人
(2) 専門分野に精通した知識と柔軟な発想を持つ人
(3) 看護実践力を基盤として、看護を取り巻く環境で生じる現象を見極め、教育と研究を推進することができる人
(4) 生活者の視点と国際的な視野を合わせもち、看護の発展を目指す人
(5) 看護学の発展につながる研究力・教育力及び革新する力を高めることへの強い意志がある人

Ⅱ　教育課程

1. 授業科目一覧及び単位数、修了要件

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		
				必修	選択	自由
共通科目		看護学研究方法特別講義 応用統計学特別講義 保健医療福祉学特別講義	1年Ⅰ期 1年Ⅱ期 1年Ⅱ期	2 2	 2	
		小計（3科目）	－	4	2	0
専門科目	エンドオブライフケア看護学	エンドオブライフケア看護学特別講義 エンドオブライフケア看護学特別講義演習	1年Ⅰ期 1年通年		2 2	
		小計（2科目）	－	0	4	0
	生涯発達看護学	生涯発達看護学特別講義 生涯発達看護学特別講義演習	1年Ⅰ期 1年通年		2 2	
		小計（2科目）	－	0	4	0
	広域看護学	在宅看護学特別講義 在宅看護学特別講義演習 地域看護学特別講義 地域看護学特別講義演習	1年Ⅰ期 1年通年 1年Ⅰ期 1年通年		2 2 2 2	
		小計（4科目）	－	0	8	0
研究科目		特別研究D	1･2･3年通年	8		
		小計（1科目）	－	8	0	0
合計（12科目）			－	12	18	0

（修了要件）

本研究科に3年以上在学し、所定の単位（16単位以上）を修得するとともに必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験（口頭試問）に合格しなければならない。

（履修方法）

(1) 共通科目から、必修4単位を履修する。

(2) 専門科目のうち、自身が専攻する特別講義（2単位）、特別講義演習（2単位）を履修する。

(3) 特別研究D（8単位）を履修する。

2.「特別研究」指導教員の研究テーマ一覧

教育研究分野	教員氏名・連絡先	主要研究テーマ
エンドオブ ライフケア 看護学	兒玉 拓 kodama@	気管支喘息の病態コントロールを評価しながら患者が求める喘息看護ケアを再定義し、併せて喘息ケアでの看護技術の課題を探求する。さらに臨床研究の手法に則り看護ケアの質の向上を目的とした研究
生涯発達 看護学	長尾 光城 dragon-n@	我が国の長寿社会のあり方を、健康寿命の観点から学術的に考察し、生老病死に至る一連の人生の中で、健康を享受して、生ききることができるかを研究する。人の人生にとって望ましいエンドオブライフのあり方を追求し、長寿健康と看護についての研究
	若井 和子 kwakai@	女性が健康で安心して妊娠、出産し、地域で子育てができる社会を目指したウイメンズヘルスケアに関する研究、地域子育て支援拠点事業の取り組みと利用者の実態、児童虐待防止に関する研究を行う
広域看護学	長尾 憲樹 tiger-n@	高齢化率、少子化等の人口動態、健康状態調査を基本とし、地震、津波、台風、豪雨等による自然災害発生時の防災体力・健康の維持増進のための研究課題を科学的見地から深く探求することで、災害時のQOL保持に寄与する研究
	多田 章夫 atada@	地域住民の喫煙、乳幼児虐待、神経難病、認知症、誤嚥性肺炎、要介護高齢者重症度予防等のテーマに関し多角的な視点から分析し、広域看護学領域における質向上に資する研究
	髙見 千恵 c-takami@	在宅療養者および家族の様々な健康課題を創造的に探究し、療養者に対する看護ケア方法、家族支援プログラム、在宅ケアシステムなどを開発し、在宅看護学に寄与する研究
	児玉 ゆう子 yukodama@	死を迎える対象者を支える専門職としての貢献できる人材の育成や看護の発展、社会に資する看護・看護職であり続けるために求められる看護教育のありかたに関する研究。看護基礎教育、看護継続教育、現任教育の各々の実践における諸課題に関する研究。スポーツと看護に関する研究
	時長 美希 tokinaga@	地域の特性に応じた健康生活の支援方法の開発、コミュニティや集団における多様な健康課題の特性に応じた応用的・予防的な支援方法の開発、地域住民の生活の中に入り込んだ複雑な健康課題への統合的な支援活動の開発などについて、地域看護学の立場から研究事象として探究し、地域看護学に貢献することを目指して研究活動を行う

○E-mail：@以下は、＊hyogo-dai.ac.jp

Ⅲ　募集概要

1. 募集人員

4名

2. 出願資格

次のいずれかに該当する者、又は2025年3月31日までに該当する見込みの者

(1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
(2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
(4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
(5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
(6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
(7) 文部科学大臣の指定した者
(8) 本大学院において、個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに24歳に達する者

（注１）上記 (8)の出願資格により出願する者については、あらかじめ同資格の審査を行います。P.17「出願資格審査」のとおり手続きを行ってください。期日までに関係書類の提出がない場合、出願できません。

3. 出願期間・選考日程等

	第Ⅰ期	第Ⅱ期	第Ⅲ期　※
出願期間	2024年9月 1日(日) ～ 9月20日(金) 必着	2024年11月18日(月) ～ 12月 6日(金) 必着	2025年2月 1日(土) ～ 2月14日(金) 必着
試験日	2024年9月28日(土)	2024年12月14日(土)	2025年2月23日(日)
合格発表	2024年10月5日(土)	2024年12月21日(土)	2025年3月 1日(土)
入学手続締切日	2024年10月25日(金)	2025年1月17日(金)	2025年3月10日(月)
辞退届提出締切日	2025年3月31日(月) 15：00まで		

※第Ⅲ期については、入学定員の充足状況により実施しない場合もあります。

4. 分野・領域及び学位

分　野	領　域	概　要	学　位
エンドオブ ライフケア看護学	エンドオブライフケア 看護学	エンドオブライフケアに関する理論開発、ケア評価の尺度開発、教育プログラム開発・検証、ケア介入や教育介入研究の独創的な探究に向けての教育研究	博士 （看護学）
生 涯 発 達 看 護 学	生涯発達看護学	ライフサイクルの特徴を踏まえ、QOL の向上に向けたケア開発と評価、プログラム開発と評価等を独創的に探究し、提言する教育研究	
広 域 看 護 学	在宅看護学	複合的かつ広域な視点から、QOL 及び QODD の向上に向けたケアシステムのプログラム開発や、ソーシャルキャピタルの醸成を独創的に探究し、提言する教育研究	
	地域看護学		

5. 選考方法、試験内容、試験時間等

筆記試験（英語）、口述試験（研究計画等）の総合評価（200点満点）とします。

試験内容	試験時間	配点	備　　考
英語	60 分	50 点	◆辞書（電子辞書可）の持込可 ※ TOEFL iBT のスコアが 61 点以上の者は、英語試験を免除する。 なお、有効期間は 2 年以内とする。
口述試験	40 分	150 点	◆審査員は 3 名 ◆研究計画等の発表

入室時間	英　語	休　憩	口述試験
10：30～11：10	11：20 ～ 12：20	12：20 ～ 14：00	14：10 ～

6. 出願書類

①志願確認票	インターネットで出願登録し、入学検定料を支払った後、マイページから印刷してください。
②自己経歴書	本学所定の用紙（**様式 1-2**）を使用し、本人が記入、作成してください。 （パソコンでの作成可）
③志望領域及び研究計画書	本学所定の用紙（**様式 2-2**）を使用し、本人が記入、作成してください。 （パソコンでの作成可）
④成績証明書	出願資格に該当する学校の長が証明したもので、発行日は出願前 3 か月以内のものを提出してください。開封無効。 ＊なお、出願資格審査で提出済の場合は提出不要。
⑤卒業証明書または卒業見込証明書	出願資格に該当する学校の長が証明したもの。 ＊なお、出願資格審査で提出済の場合は提出不要。

※改姓等の理由により、願書と証明書等記載の氏名が異なる場合は、その変更内容が確認できる公的書類（戸籍抄本等）を添付してください。

共通事項【博士前期課程・博士後期課程】

1. 入学検定料及び納付方法

入学検定料は、35,000円です。

(1) インターネットでの出願登録をした後、以下の支払い方法のいずれかでお支払いください。

・クレジットカード払い　　・コンビニ支払い

・ペイジー払い

(2) いったん払い込まれた入学検定料は、いかなる理由でも返還できません。

2. 試験地

兵庫大学大学院（兵庫県加古川市平岡町新在家2301）

※試験場下見／試験前日にキャンパス内のみ下見が可能です。試験室への立ち入りはできません。

3. 出願方法・郵送先・注意事項等

本学はインターネットでの出願を受け付けています。インターネット出願については、事前にマイページ登録が必要となりますので、「兵庫大学受験生応援サイト」よりマイページ登録をしてください。マイページより出願申込をし、入学検定料をお支払いいただくと、「宛名用紙」が出力できます。

市販の封筒（角形2号）を用意し、出願用の「宛名用紙」に必要事項を記入したうえで、しっかりとはがれないように貼り付けて、「簡易書留・速達」扱いで郵送してください。配送中に「宛名用紙」がはがれると無効になりますので十分注意してください。また、本学入試・広報課窓口でも受け付けます。（受付時間：平日9時～17時、土曜日9時～16時30分）

〔郵送先〕
〒675-0195　兵庫県加古川市平岡町新在家2301
兵庫大学大学院　入試・広報課

※受理した出願書類の差替えや記載事項の変更は、原則として認めません。

※受験票は試験日の約1週間前を目途にマイページにアップロードします。アップロードの後、メールにてご案内しますので、受験票を印刷のうえ、試験当日持ってきてください。

※提出された出願書類及び入学検定料は返還しません。

4. 受験上の注意事項

(1) 受験に関する注意事項等の説明がありますので、必ず入室時間中に試験室に入室してください。
(2) 試験室に受験番号等を記した座席表を貼っていますので、自分の座席を確認して着席してください。
(3) 遅刻限度は試験開始後 20 分までです。それ以降の試験室への入室を一切認めません。20 分以上の遅刻の場合は、速やかに入試本部まで申し出てください。
(4) 試験時間中の退室は認めません。
(5) 受験票は必ず持参してください。万一紛失したり、忘れた場合は、入試本部に申し出てください。
(6) 試験中使用できるものは、鉛筆、シャープペンシル、プラスチック消しゴム、鉛筆削り（電動式は除く）、時計に限ります。但し、英語の試験は、辞書（電子辞書可。但し、通信機能がないものに限る）の使用が可能です。
(7) 時計は時計機能だけのものに限ります。携帯電話等を時計代わりに使用することはできません。
(8) 上履きは不要です。
(9) 昼食は各自で用意してください。

5. 合否発表

(1) 合格者には「合格通知書」と「入学手続要項」を郵送します。
(2) 不合格者には「不合格通知書」を郵送します。
(3) 上記通知書類は全て速達で送付しますが、遠隔地の場合は、郵便事情により到着が遅れることがあります。
(4) 学内掲示による発表は行いません。
※合否に関する電話での問い合わせには一切応じられません。
なお、合格発表日から2日を過ぎても合否の通知が届かない場合は、入試・広報課にお問い合わせください。（☎ 079-427-1116）

	第Ⅰ期	第Ⅱ期	第Ⅲ期
合格発表日	2024 年 10 月 5 日（土）	2024 年 12 月 21 日（土）	2025 年 3 月 1 日（土）

6. 入学手続き

【入学手続に関する注意】

所定の期日までに入学手続書類の提出（必着）と入学時納付金の納入を行ってください。入学手続締切日までに入学手続を完了しなかった場合は、入学する権利を失います。

	第Ⅰ期	第Ⅱ期	第Ⅲ期
入学手続締切日	2024 年 10 月 25 日（金）	2025 年 1 月 17 日（金）	2025 年 3 月 10 日（月）

【学費等納付金】

◆博士前期課程

（単位：円）

種類＼納期	1年次			2年次		
	Ⅰ期分（入学手続時）	Ⅱ期分	計	Ⅰ期分	Ⅱ期分	計
入　学　金	200,000	—	200,000	—	—	—
授　業　料	150,000	150,000	300,000	150,000	150,000	300,000
教育充実費	125,000	125,000	250,000	125,000	125,000	250,000
計	475,000	275,000	750,000	275,000	275,000	550,000

※兵庫大学出身者は、入学金全額免除とします。

※別途、諸経費の徴収があります。

◆博士後期課程

（単位：円）

種類＼納期	1年次			2年次		
	Ⅰ期分（入学手続時）	Ⅱ期分	計	Ⅰ期分	Ⅱ期分	計
入　学　金	200,000	—	200,000	—	—	—
授　業　料	150,000	150,000	300,000	150,000	150,000	300,000
教育充実費	125,000	125,000	250,000	125,000	125,000	250,000
計	475,000	275,000	750,000	275,000	275,000	550,000

（単位：円）

種類＼納期	3年次		
	Ⅰ期分	Ⅱ期分	計
入　学　金	—	—	—
授　業　料	150,000	150,000	300,000
教育充実費	125,000	125,000	250,000
計	275,000	275,000	550,000

※兵庫大学出身者は、入学金全額免除とします。

※別途、諸経費の徴収があります。

【入学辞退について】

辞退届提出締切日／　2025年3月31日（月）15：00まで

上記の期日までに所定の様式による「入学辞退届」を提出した者には、入学金を除いた入学時納付金を全額返還します。

7. 事前相談

出願希望者は全員、出願前に、研究指導を受けようとする教員と連絡をとり、入学後の研究、履修年数及び出願手続き等について必ず事前相談を行ってください。研究指導教員と研究テーマ及び連絡先は博士前期課程は3頁、博士後期課程は9頁を参照してください。研究指導を受けようとする教員が不明確な場合は、入試・広報課にお問い合わせください。

＊入試・広報課　☎ 079-427-1116

8. 授業時間割について【昼夜開講制度】

本学では、保健医療福祉の場で現職にある看護師や保健師等の社会人が、仕事を続けながら大学院教育を受けられるようにするため、大学院設置基準第14 条に基づき、平日の夜間等に授業や研究指導を行うことができる教育環境を整備しています。

指導教員は、社会人の入学時に勤務状態を考慮しながら、系統的・計画的な履修計画となるように指導します。また、社会人入学生の事情を考慮して、昼間に加えて夜、週末（土曜）、休業中の授業や研究指導を行います。

9. 長期履修制度

職業を有している等の事情により、標準修学年限内での修学が困難な場合、長期履修期間を限度として修業年限を延長することができます。

（博士前期課程は3年を限度、博士後期課程は4年を限度。）希望する方は、入学後に所定の手続きを行ってください。

	標準修学年限	長期履修期間	在学可能期間
博士前期課程	2年	3年	4年
博士後期課程	3年	4年	6年

10. 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金の希望者は、入学後、「学生支援課」まで申し出てください。

11. 身体に障がいのある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、身体に障がい（学校教育法施行令第22 条の3に定める障害の程度）がある者は、受験上の特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とすることがあります。また、上記以外の者でも、修学上特別措置を必要とすることがありましたら、いずれの場合も、出願前に、あらかじめ入試・広報課に連絡してください。

＊入試・広報課　☎ 079-427-1116

12. 受験生の個人情報の取扱いについて

出願の際に、受験生の皆様からお知らせいただいた個人情報（氏名、住所等）については、入学試験の実施や合格発表から学籍設定までの入学手続処理、ならびに本学が必要と判断した情報の提供、その他統計的集計等を行うためにのみ利用します。

なお、個人情報の管理等については、紛失、改ざん及び漏洩等の防止に努めます。

13. 入試情報の開示

本学では、受験生より試験成績等の開示請求があれば、入学試験の試験成績等を郵送により、文書で開示いたします。開示請求期間や開示内容等の詳細については、

本学ホームページ（https://www.hyogo-dai.ac.jp/）でご確認ください。

開示請求の際は受験票が必要になりますので大切に保管してください。

出願資格審査

出願資格（博士前期課程は（8）（9）（10）、博士後期課程は（8））に該当する出願者は、出願に先立ち事前に資格審査を行いますので、下記の「申請書類」を出願期間内に提出し申請してください。出願資格について不明な方は入学部入学課にお問い合わせください。

1. 申請書類

（1）入学試験出願資格認定申請書（本学所定用紙　**様式4**）
（2）最終学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書
（3）最終学校の成績証明書
（4）現在、医療・保健・福祉施設・教育機関・官公庁・企業等に勤務する場合は在職証明書
（5）その他：公表論文・研究業績がある場合は、業績一覧（リスト）を添付してください。

2. 申請書類の受理期間

上記「申請書類（1）～（5）」の出願期間は、以下のとおりとします。

第Ⅰ期	2024年　7月16日（火）～　8月　2日（金）消印有効
第Ⅱ期	2024年10月　1日（火）～10月18日（金）消印有効
第Ⅲ期	2025年　1月　6日（月）～　1月17日（金）消印有効

封筒に**「大学院看護学研究科博士前期課程（又は博士後期課程）看護学専攻・出願資格審査申請書類在中」と朱書きして、「簡易書留」**扱いで郵送してください。

3. 申請書類の送付先

兵庫大学　入試・広報課
〒675-0195　兵庫県加古川市平岡町新在家2301
☎ 079－427－1116

4. 資格審査の結果

（1）資格審査の結果は，審査終了後，本人宛に郵便で通知します。
（2）出願資格を認定された方は，所定の期間内に出願手続きをしてください。なお，正式な出願時に必要となる書類は余裕をもってご準備ください。

ありがとうのプロフェッショナルへ。